



～ありがとう これからも地域とともに～

兵庫丹波の森協会ニュース2015

丹波の森構想を推進するため、篠山市・丹波市の出捐により設立された（公財）兵庫丹波の森協会が、丹波の森公苑・丹波年輪の里・ささやまの森公園・丹波並木道中央公園を拠点として、地域の方々との「参画と協働」により2015年に実施した主要な取り組みや事業等をお知らせし、丹波の森づくり（地域づくり）への理解と関心を深めていただくとともに、今年の丹波の森づくりを振り返る資料として発行しました。事業に関するご意見等をお寄せください。

①は新規事業、②は継続事業です。

トピックス

② 「丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば」による被災地支援

丹波市豪雨災害及び東日本大震災からの復興を支援するため、シューベルティアードたんばの各コンサート会場で募金活動を行い、それぞれの地域へ義援金等を贈りました。

・丹波市市島町前山地区自治振興会へ義援金贈呈

シューベルティアードたんば実行委員長の辻重五郎氏から、前山地区自治振興会会長の大槻俊彦氏に義援金の贈呈を行いました。

- ・贈呈日 8月8日（土）
- ・場 所 丹波市市島町前山地区夏祭り会場



義援金の贈呈

・宮城県気仙沼市立中井小学校に楽器を贈呈

集まった義援金で、教育用オルガンを購入し、宮城県気仙沼市立中井小学校に贈呈しました。

シューベルティアードたんばの音楽監督である畑氏が中井小学校を訪れ、楽器の贈呈及びミニコンサートを行いました。代表の児童から「いただいた楽器はいつまでも大切に使います。」「とてもすてきな演奏を聞くことができ楽しかったです。」とのお礼の言葉がありました。

- ・訪問日 6月16日（火）
- ・訪問先 宮城県気仙沼市立中井小学校



気仙沼市立中井小学校を訪問

新 第30回兵庫県学ぶ高齢者のつどい中央大会に県内の学ぶ高齢者が集結

県内で持ち回り開催される「学ぶ高齢者のつどい中央大会」が、今年度で30回を迎えました。その記念すべき中央大会が、丹波の森公苑を会場にして開催されました。

各ブロックから約500名の学ぶ高齢者が集結した丹波の森公苑ホールでは、高齢者の主張や記念講演などが行われました。記念講演では、中瀬勲公苑長が講師を務められ、「出番ですよ。マナビストの皆さん！-地域活性化は待ったなし-」という演題で講演されました。



兵庫県学ぶ高齢者のつどい中央大会

また、多目的ホールでは、各ブロック大会で入選した117点の力作が鑑賞できる絵画、書道、写真などの作品展が開催されました。参加いただいた方々には、互いに学びを深め、交流の輪を広げるなど、有意義な1日を過ごしていただくことができました。

- ・開催日 11月27日(金)
- ・場 所 丹波の森公苑ホール他
- ・参加者 約500名

新 丹波の森公苑ホールでJ-POPアーティストによる森のコンサートを実施

J-POPアーティスト「USAGI」によるコンサートを開催しました。全国各地から多数の来場者があり、USAGIの素晴らしいステージに、会場が一体となって大いに盛り上がりました。

地元の高校生をボランティアスタッフとして迎え、会場までの道案内係として協力いただくなど、スタッフを増員して来場者を迎える取組を行い、多くの来場者から若いスタッフの方に「温かく迎えていただけ嬉しかった」と好評をいただきました。

コンサート会場内に「森づくり展」として、丹波の「森づくり」や「里山再生」などに取り組んでいる団体の活動などを紹介するパネルを展示し、来場者のみなさんに見ていただくことで、その取組についての周知を図ることができました。

- ・開催日 8月9日(日)
- ・場 所 丹波の森公苑ホール
- ・出演 J-POPアーティスト「USAGI」
- ・入場者 430名



USAGIコンサートの様子



USAGIコンサートチラシ

森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざしました。

新 地球育ミュージアム コネクト三丹（三丹地区の環境学習拠点の連携）

丹波、丹後、但馬は、「三たん」と呼び慣わされるように、古代、丹波国造としてひとつの領域を形成しており、今も「三たん」としての圏域意識が人々の間に息づいています。この三たん地方の、6つの環境系ミュージアム—京都府立丹後海と星の見える丘公園、琴引浜鳴き砂文化館、豊岡市立コウノトリ文化館および兵庫県立コウノトリの郷公園、新温泉町山陰海岸ジオパーク館、(公財)兵庫丹波の森協会が、府県境を越え、2014年8月からパートナーシップに取り組みはじめました。本パートナーシップは、「地球育」—地球科学を体感し、地球とともに育ち、地球を育む—をテーマに、相互啓発を図るとともに、環境学習、環境保全、環境ツーリズム振興等、環境を活かした発展と三たん地方の絆を呼び覚ます事をめざしています。こうした趣旨に基づき、地球育ミュージアム研究会を設置するとともに、宮津を会場としたアースガーデンでトークセッションを開催しました。

- ・開催日 10月25日（日）
- ・場所 宮津市丹後海と星の見える丘公園



トークセッションの様子



地球育ミュージアム研究会の様子

新 丹波篠山ひなまつり事業のコーディネート業務

まだ肌寒い3月下旬、篠山で古来から続く「ひな飾り」を市内各所に飾り、伝統文化を未来に継承していく「丹波篠山ひなまつり」が開催されました。

この催しは、まちづくり協議会など市内7地区9団体で構成する「丹波篠山ひなまつり実行委員会」が主催し、当協会は、実行委員会の事務局および企画のコーディネートを務めるなど全面的に協力いたしました。

会期中、特別企画として、丹波市の稲畑人形展や講演会も開催され、また、市内50カ所の民家と商店にはそれぞれ自慢のひな飾りが飾られ、早春を迎えた美しい田園とまち並みの情緒を市民・観光客の皆さんに満喫いただきました。

- ・開催日 3月21日（土・祝）～29日（日）
- ・場所 篠山市内7会場（福住、市野々、雲部、日置、篠山城下町、丸山、今田）
- ・来場者 約8,000名



ひな飾りの様子



ひなまつり会場の様子

新 森づくり展の開催

丹波地域で取り組まれている「森づくり活動」「里山再生」などの様子を広くPRすることを目的に森づくり展を開催しました。

8月9日（日）に開催したJ-POPアーティスト「USAGI」によるコンサートでは、出演アーティストから「森づくり」の大切さをアピールしてもらい、コンサート来場者にもこれらの活動について関心を持ち、理解を深めてもらいました。

- ・開催日 7月31日（金）～8月13日（木）
- ・場所 丹波の森公苑 展示ギャラリー（8月9日（日）は、ホールホワイエに展示）



森づくり展（ホールホワイエ）



森づくり展（展示ギャラリー）

新 太古の篠山層群を巡る・川代溪谷ウォーキングツアー

「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想」を推進する一つの事業として、ウォーキングツアーを実施しました。

当日は、JR下滝駅から丹波並木道中央公園までのルートを恐竜化石発見地など、説明を受けながら歩き、自然豊かな溪谷美を楽しみました。また、参加者からの意見等を集約し、今後のツアー実施の参考とします。

- ・実施日 11月22日（日）
- ・場所 JR下滝駅～川代溪谷～丹波並木道中央公園
- ・参加者 22名



恐竜化石発見者からの説明

丹波の森フェスティバルの開催

「もりびとになって たんばらしさを楽しもう」をテーマに、丹波地域の生活創造・地域づくり活動団体や市民が集い、ふれあいイベントを通して活動成果の発表と交流を深めました。

今年は、「県民交流広場ふるさと交流会2015」を同時開催し、緑豊かな自然の中で地域や世代を越えた交流とふれあいの場を展開しました。

- ・開催日 10月18日(日)
- ・場所 丹波の森公苑
- ・参加者 約5,000名



丹波の森フェスティバルの様子

国蝶オオムラサキの舞う里山づくり(広がるオオムラサキの飼育)

国蝶オオムラサキの舞う里山を目指して、平成19年から取り組んでいるオオムラサキの飼育も9年目となり、平成21年からは継続して公苑内にオオムラサキの放蝶を行い、6月から7月にかけては公苑内の里山でオオムラサキが飛翔する姿も見られるようになりました。

まだ、数は多くはないですが、運がよければ緑の森の上を力強く羽ばたく姿が見られます。

2015年も7月4日に小雨が降る中120名の参加を得て、7回目のオオムラサキ放蝶会を開催しました。

丹波地域ではオオムラサキの飼育に取り組む施設も増え、今年は20小学校、1高校、5事業所となっており、地域で放蝶を行っているところもあります。

オオムラサキが生育できる環境を整えていくことが、豊かな自然環境を保全することにも繋がるので、オオムラサキが舞う丹波の里山づくりを進めていきます。



第7回放蝶会の様子

生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざし事業を取り組みました。

丹波OB大学・大学院の現役生及び修了生が地域で活躍!

丹波OB大学では、地域実践の日(7月29日(水)及び8月2日(日))を設定し、管内7カ所の事業所等で、受講生が福祉ボランティア活動や清掃作業を行いました。

丹波OB大学大学院では、2年生が「高齢者が安心・安全に暮らせる地域づくりについて」をテーマに9月12日(土)、篠山市住吉台自治会を対象とした座談会を行い、課題を解決するための方策について話し合うことにより、



丹波OB大学地域活動

住民意識の高揚を図りました。12月6日(日)には、篠山市八上地区において、地元の方と一緒に健康料理教室、介護予防体操を行いました。

また、丹波OB大学大学院の修了生が、11月25日(水)の丹波OB大学オープン学習において、「登山」の講師を務め、里山の歴史や特性について現地を歩きながら解説する活動を行いました。

【 講座「丹波学」『戦国の世と丹波Ⅲ ～戦国期丹波と畿内～ 』を開催

20回目を迎えた今年度の講座は、「戦国の世と丹波Ⅲ～戦国期丹波と畿内～」をテーマとして開講しました。

戦国期の丹波をより深く追及するため、戦国時代史研究の第一人者である福島克彦氏をはじめ、丹波の戦国時代の歴史研究者として著名な講師を招き、戦国期丹波を中心とした守護体制下における守護の分国支配のあり方とその後の変質の意義等にも触れ、戦国期丹波と畿内との関係について学びました。

- ・開催日 9月19日(土)、10月3日(土)、
11月7日(土) 11月28日(土)、
12月19日(土)の5回
- ・場 所 丹波の森公苑 多目的ルーム
- ・受講者 169名(定員150名)



講座風景

【 丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし語りベクラブの活動支援

子どもの健やかな成長とこころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、話し聞かせる活動を行っているサークルに、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成を行いました。

併せて、会員の技術向上と情報交換の場として会員同士の交流研修会を11月5日(木)に、丹波市立北小学校で行いました。



(丹波市立氷上北小学校)

芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざし事業を展開しました。

【 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば2015の開催

21回目の開催となる今年は、「ピアノがうたう」をテーマに、城村奈都子さんがフランスを務め、秋の丹波を舞台に多彩なコンサートを開催しました。

- ・期間 9月12日(土)～11月14日(土)

・内容

・ オープニング・サロンコンサート

「シューベルトはこんな音色を聞いていた」と題し、フォルテピアノ、クラシカルフルート、バロックバイオリンといった古楽器を使って、シューベルト作曲による即興曲を中心に演奏するコンサートを開催しました。

- ・開催日 9月12日(土)
- ・場所 お菓子の里丹波ミオール館
- ・参加者 230名



オープニング・サロンコンサート

・ ファイナルコンサート

「フランツもびっくり! 尺八でアヴェマリア!? トロンボーンで子守唄!?!」と題し、ドイツのオーディションで選抜されたフライブルク音楽大学(ドイツ)のトロンボーン奏者ニーヴェン・デリヤン氏を招聘し、丹波市出身で、東京藝術大学大学院の学生である井本蝶山さん(尺八)と共演することで、音楽を通じた国際交流を図るとともに、和と洋がコラボした新しい音楽の可能性を試みました。

- ・開催日 11月14日(土)
- ・場所 丹波の森公苑ホール
- ・参加者 520名

・ 街角コンサート

丹波各地の公共施設を会場として、地域の特色を生かしたコンサートを10カ所で開催しました。

・ ふるさと音楽ひろば

丹波地域の小学校10校に音楽家が出向き、間近でプロの演奏が鑑賞できる機会を提供し、子ども達とワークショップを行いました。

・ キン・コン・カン・コンサート

丹波地域の中・高等学校4校に音楽家が出向き、演奏会を行いました。

・ 被災地への支援活動

各コンサート会場では、東日本大震災の被災地の小学校に楽器を贈るため、募金を行いました。

■ 丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演

丹波の森子どもミュージカル体験塾では、7月23日(木)から10月24日(土)まで、全部で15回のレッスンを行い、丹波地域の小・中・高校生43名の子どもたちが、劇団ウエスト(豊中市)の劇団員による指導を受けました。

個々の歌・ダンス・演技に磨きをかけるだけでなく、塾生のみんなが一つになって素晴らしいミュージカルにしようと稽古に励んだ結果、発表公演ではみんなで感動のステージを創り上げることができました。

- ・開催日 10月25日(日)2回公演
- ・場所 丹波の森公苑ホール
- ・出演 平成27年度丹波の森子どもミュージカル体験塾生(43名)
劇団ウエスト・プロの劇団員
- ・演目 輝けドリーム~もう一つのピーターパン~
- ・入場者 610名



子どもミュージカルの発表公演

■ 丹波文化団体協議会による出前授業「子どもたちのための和楽器鑑賞会」の開催

子どもたちに和楽器の良さを味わってもらうため、丹波地域の小学校に丹波文化団体協議会の会員が出向き、和楽器演奏とワークショップを実施しました。

11カ所の小学校で、和楽器（三味線、尺八、琴）の説明や演奏、楽器の演奏体験などを行いました。

児童は、なかなか目にすることができなくなった和楽器に触れることで、伝統ある日本の文化の素晴らしさを実感することができました。

- ・開催日 1月13日（火）～30日（金）
12月3日（木）～22日（火）
- ・場所 篠山市立城北畑小学校、丹波市立鴨庄小学校 ほか



和楽器鑑賞会

丹波年輪の里の取組

木とのふれあいを通じた木工クラフト体験、木材の利用促進を図る木育の普及、木工の里丹波の活性化支援、さらには健康づくりや憩いの場として、新しいライフスタイルの創造をめざす丹波の森構想の実現支援に向けた取り組みを展開しました。

■ 座^{すわ}っ展^{てん}2015 —丹波で生まれた木の椅子— の開催

丹波地域で活躍する木工作家が創作した椅子を展示し、手づくり椅子の個性・機能やデザインの美しさを、また座り心地などを体感することにより木の安らぎやぬくもりを伝えるとともに、木工作家の紹介や「木工の里丹波」の周知を図りました。

- ・開催日 4月29日（水・祝）～5月6日（水・祝）
- ・事業内容 丹波の木工作家13名の創作椅子31脚の展示と座り心地体験
座り心地やデザインなどお気に入りの椅子を選ぶアンケートを実施
- ・入場者 1,450名



座っ展風景

■ ウッドワーカーズクラフト（旧名称 手づくり市）の開催

兵庫丹波、京都丹波で木工や陶器などオリジナル作品を手づくりで創作している作家に呼びかけ、春のゴールデン・ウィーク期間中の1日、年輪の里中央広場を中心に展示と即売会を開催しました。

- ・開催日 5月3日（日・祝）～4日（月・祝）
- ・出展者 手づくり作家28名、飲食ブース6店
- ・入場者 約900名

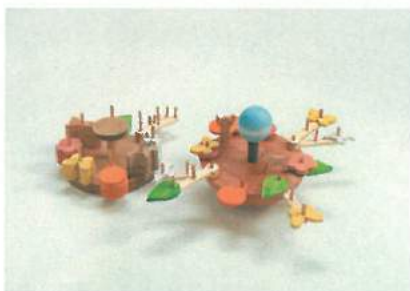


ウッドワーカーズクラフト風景

■ 第28回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）の開催

丹波年輪の里の開園年(昭和63年)にスタートした「丹波の森ウッドクラフト展」は28回を数え、これほど長期に継続している木の玩具の公募展は、日本でも珍しい存在と高い評価を受けています。

・テーマ	一般の部	「正方形・円」「自由作品」
	ジュニアの部	「自由作品」
・応募状況	一般の部	94点
	ジュニアの部	68点
・展示期間	一般の部	9月20日(日)～10月4日(日)
	ジュニアの部	10月25日(日)～11月8日(日)
・入場者	5,310名	



一般の部グランプリ



一般の部 おきにいり賞



ジュニアの部 グランプリ賞



ジュニアの部 ウッドラヴリー賞

ささやまの森公園の取組

ささやまの森公園は、子どもたちの大好きなクワガタやカブトムシなどの昆虫からアカショウビンやサンコウチョウなどの野鳥、コナラやハンノキなどの自然林から杉や檜の人工林、さらには加古川の源流となる水にも恵まれるなど人々の生活と密着して豊かな自然が保全・再生されてきました。そして、「森が学校」の精神を活かし、多くの方々の参画を得ながら里山文化の活用と創造につなげるプログラムに取り組んできました。

■ 森の遊び場を創る

園内では火気厳禁のためバーベキューができませんでしたが、来園者の要望に応え、バーベキュー広場として園内の特定の場所でバーベキューができる窯を3基設置しました。



完成したバーベキュー窯



使用の様子

継 ホンシメジ栽培に希望

兵庫県森林林業技術センターの指導を受け、昨年に引き続き4月に17カ所にホンシメジ菌の埋め込みを行いました。11月にその菌根形成(埋め込みを行ったホンシメジ菌をコナラの細根が取り巻いている)状況を確認したところ9カ所で確認できました。



発生状況確認の様子



菌根形成の様子

新 園内の生きものや風景の写真コンテストを実施

公園内の風景や動植物など「その時」をとらえた写真を募集し、「秋の里山まつり」に来園された方々の投票による写真コンテストを実施しました。



写真展の様子



丹波並木道中央公園の取組

「丹波の夢ビジョン」で示されている「いのち(自然)・ひと(人間)・なりわい(産業)」の3つの「環」

を育む拠点として、皆さんの参画と協働により、魅力的な空間を体感していただける公園を目指し、多彩な事業を展開しました。

【継】 棚田における体験学習（赤米の栽培）

公園内にある棚田において、赤米の栽培を行いました。田植えと稲刈りを地元の小学校（味間小学校・大山小学校）と神戸市にある認定こども園（明照認定こども園・みのり認定こども園・つきかげ認定こども園）の児童・園児、一般来園者が体験しました。田植え、収穫を手作業で体験し、お米を作ることの大変さや、赤米が出来た喜びを分かち合いました。

- ・開催日 6月下旬 田植え
9月上旬 かかし立て
10月下旬 収穫



赤米の田植え

【継】 第4回秋の丹波なみきみちまつり2015の開催

公園の年に1度のお祭りである「第4回丹波なみきみちまつり2015」を開催しました。

公園の間伐材を利用した「丸太切り体験」や篠山市教育委員会と連携で行っている「化石発掘体験会」地域の特産品を販売する「軽トラ市」や「丹波うまいもん市」など、「食」「森」「楽」「恐竜」などのテーマに合わせたイベントが行われ、多くのお客さんでとても賑やかなお祭りとなりました。

- ・開催日 10月4日（日）
- ・参加者 約6,000名



なみきみちまつり2015

【継】 地域との連携によるイベントの開催

地元有志グループ等と連携し、丹波並木道中央公園で「ササヤマミュージックマーケット」「なみきみちマルシェ」「邦楽ふれあいコンサート」を開催しました。

「ササヤマミュージックマーケット」では食べ物、雑貨、音楽をテーマに地元の若者が中心となり、イベントを開催し、多くの家族連れで賑わいました。

「なみきみちマルシェ」では多くの手作り雑貨の販売や移動販売車等による飲食の販売があり、多くのお客さんににぎわいました。

「邦楽ふれあいコンサート」ではかやぶき民家で尺八、箏（こと）による演奏会が開催され、懐かしい邦楽の調べに耳を傾けました。

- ・開催日 3月22日（日） 春のなみきみちマルシェ
5月5日（火・祝） ササヤマミュージックマーケット×春のなみきみちまつり
9月6日（日） 秋のなみきみちマルシェ
11月8日（日） 邦楽ふれあいコンサート
- ・参加者 約9,000名



ミュージックマーケットの様子

利用者の状況 (2015年11月末現在)

【丹波の森公苑】 240,036人

【丹波年輪の里】 155,937人

【ささやまの森公園】 18,145人

【丹波並木道中央公園】 128,065人

公益財団法人兵庫丹波の森協会

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原5600

TEL&Fax 0795-73-0933

丹波の森公苑

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原5600

TEL 0795-72-2127 (代表) Fax 0795-72-5164

URL <http://www.tanba-mori.or.jp/> e-mail morikoen@hk.sun-ip.or.jp

丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路102-3

TEL 0795-73-0725 Fax 0795-73-0727

URL <http://nenrin.org/> e-mail mail@nenrin.org

ささやまの森公園

〒669-2512 兵庫県篠山市川原八幡谷511-1

TEL 079-557-0045 Fax 079-557-0201

URL <http://www.sasayamanomori.jp/> e-mail csr@sasayamanomori.jp

丹波並木道中央公園

〒669-2221 兵庫県篠山市西古佐90番地

TEL 079-594-0990 Fax 079-594-0991

URL <http://www.hyogo-park.or.jp/tanba>

BLOG <http://namikimichipark.blog.fc2.com/>